



## 持続可能な まちづくりへ

# 町屋5・6・7・8丁目は買い物困難地域…？！ 住み続けるために商業立地計画の策定を

買い物困難者とは...  
農林水産省は、買い物困難者を「食料品アクセス困難人口」と定義し、具体的には「店舗まで直線距離で500メートル以上、かつ、65歳以上で自動車を利用できない人」としています。

町屋地域の高齢化率など			
	高齢者数	比率	75歳以上
5丁目	4,189	23.3%	14.2%
6丁目	4,613	26.8%	15.8%
7丁目	3,648	27.5%	14.7%
8丁目	3,141	23.6%	13.6%
区全体	48,615	21.7%	12.6%
高齢者 65歳以上			

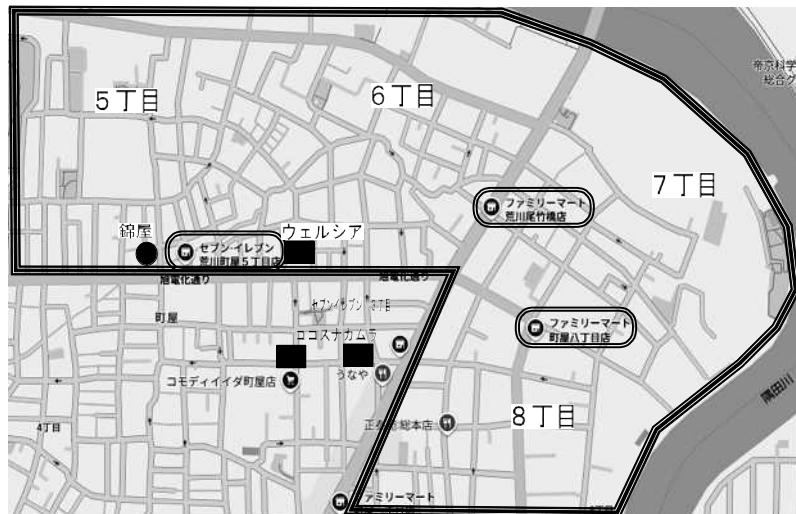
旭電化通りは、道路拡幅事業の影響もあり商店街がよりきびしい経営環境に置かれています。特に町屋5、6、7、8丁目には食品、日用品を販売する小売店舗が事实上3つのコンビニと錦屋、

都議選終了直後の6月24  
まり、横山、斎藤両区議が  
容をお知らせします。（2  
**将来も見越した貰い物**  
**小売店舗の出店誘導な**  
商店街の衰退に歯止め  
がかからず、大きな危機  
感を感じます。かつて大  
店法が廃止され、商業調  
整ができなくなり地域商  
業が大型小売店舗出店任  
せになつてきました。

将来も見越した買い物困難者・地域の実態踏査と小売店舗の出店誘導など取組を求めてました…!

都議選終了直後の6月24日から荒川区議会6月会議が始まり、横山・齊藤両区議が質問に立ちました。その主な内容をお知らせします。（2面に続きます）

### 町屋5、6、7、8丁目の主な小売店舗（食品・日用品など）



ウエルシア（ドラッグストアー）しかありません。生鮮食品はスーパーしかありません。自宅から500m以内に店舗がない高齢者など食料アクセス困難者（農林水産政策研究所の定義）に該当する方が多く住んでいる地域です。また高齢化率は、区の平均よりも高くなっています（上表）。

いまから買い物困難者・地域への対応が必要です。移動販売などとともに、今ある商店街を何とかできないか、高齢者などが身近に食料品、日用品を買い求める店舗をどのように配置すれば持続可能な街になるのかなどの観点と誘致政策が必要です。将来を展望して区内の小売店舗空白地域、買物困難者の実態調査等実施するとともに、その結果も取り入れ小規模店舗の立地も含めた「商業立地計画」を策定することを求めました。



## 都議会議員選挙の結果…ご協力ありがとうございました

		2025年	2021年
当】	当日有権者数 投票率 有効投票数	168, 941人 48. 13% 80, 077	168, 970人 43. 10% 71, 577
当】	さいとう 和樹 ( 都ファ・新 )	<b>19, 016</b> 23. 75%	たきぐち 17, 138 学 23. 94%
当】	けいの 信一 ( 公明・現 )	<b>16, 398</b> 20. 48%	19, 493 27. 23%
当】	町田 たかし ( 自民・新 )	<b>16, 266</b> 20. 31%	さきやま 14, 249 知尚 19. 91%
当】	小林 ひろし ( 共産・新 )	<b>10, 825</b> 13. 52%	鈴木 11, 885 けんいち 16. 60%
当】	南 貴大 ( 再生・新 )	<b>8, 994</b> 11. 23%	-
当】	山川 ゆうな ( 無所属・新 )	<b>8, 578</b> 10. 71%	5, 023 7. 02%
当】	諸派	-	3, 789 5. 29%
無効票	1, 225		1, 253

その結果新たな都議会の構成は、左グラフのよ  
うな結果となっています

日本共产党は、選挙中訴えた公約の実現に、みなさんと力を合わせて取り組みます。

公明現職が自民新人を僅差で上回り当選。日本共産党は残念ながら及びませんでした。

日本共産党は、選挙中訴えた公約の実現に、み票は行つていなし現状です。

22日投開票で都議会議員選挙が行われました。荒川区は、定数2に6

投票率は東京都47.59%（前回比5.2ポイント増）。荒川区は、48.4%。

